

Java 2 Runtime Environment (JRE) の脆弱性について

平成19年7月18日

柏市電子入札システムを利用されている皆様に、セキュリティ上の問題とその対処方法についてお知らせいたします。つきましては、以下のとおり対処していただきますようお願いいたします。

概要

JREの脆弱性を悪用して情報漏洩などの被害を回避するため、

- ・ 柏市電子入札を使用しない場合 「JREのプラグインを無効」(下記4)にする。
- ・ 柏市電子入札を使用する場合 「JREのプラグインを有効」(下記5)にする。

1. 問題概要

柏市電子入札システムをご利用していただく環境において、Sun Microsystems社が提供しています「Java 2 Runtime Environment (以下JREと略します。)」の1.3.1_06(または1.3.1_09)をインストールしていただいています。

このJREの1.3.1_19以前の複数のバージョンに関しまして、Sun Microsystems社よりセキュリティホールがあることが公表されました。柏市電子入札システムでインストールしていただいているJREも、当該セキュリティホールの対象となっております。

2. 問題による危険性

当該セキュリティホールは、JREに存在するセキュリティホールであり、柏市電子入札システムに関するセキュリティホールではありませんので、**柏市電子入札システムを利用することにおいては問題ありません**。しかし、今回発見された脆弱性を悪用したWebサイトへ接続した場合などに、パソコン内部へ不正なファイルの書込みや実行が行われ、情報漏洩などの被害が出る可能性があります。

3. 対処方法

Sun Microsystems社より、JREを最新バージョンにすることで当該セキュリティホールに対処できることが通知されておりますが、柏市電子入札システムを含むコアシステムでは「JRE1.3.1_06(または1.3.1_09)」以外の動作保証をしていません。

恐れ入りますが、柏市電子入札システムを利用される場合以外には「JREのプラグインを無効」(下記4)にしていただきますようお願いいたします。

柏市電子入札システムを利用する場合は、再度、「JREのプラグインを有効」(下記5)にする必要があります。**「JREのプラグインが無効」の設定だと、電子入札システムを利用することはできません**のでご注意ください。

お問い合わせ(電子入札のヘルプデスク)

0570-011-232 (ナビダイヤル)

(月曜日～金曜日(祝日・年末年始・10/26を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00)

ナビダイヤル

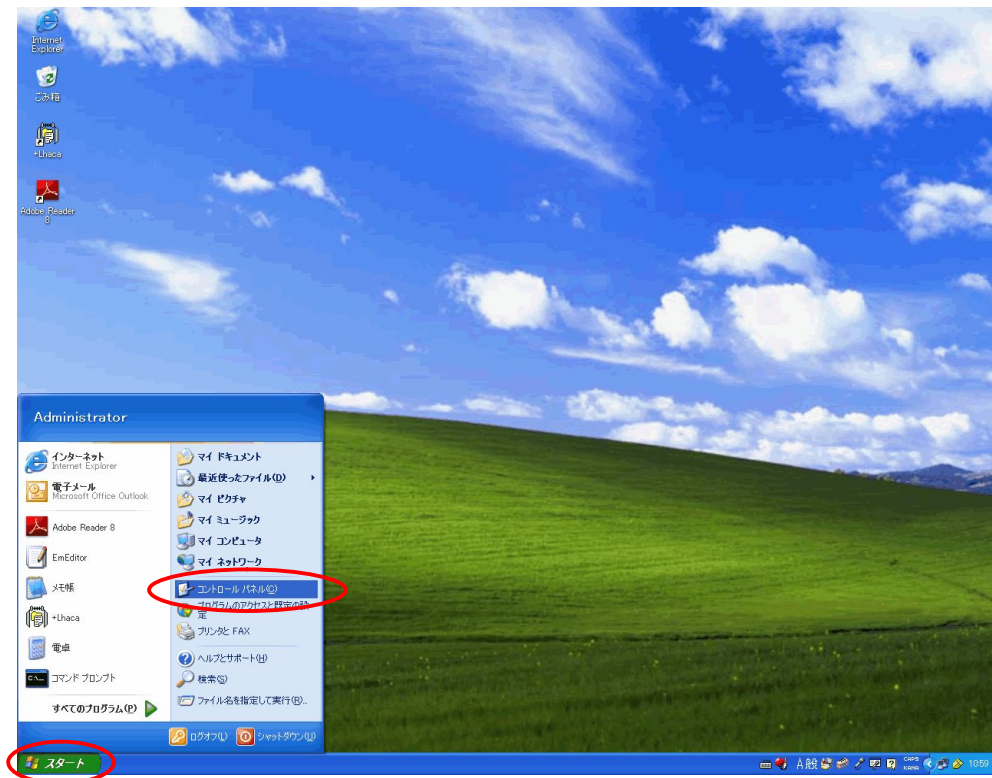
ナビダイヤルとは、フリーダイヤルとは違い、発信者に通話料金を負担していただくものです。

(例: 柏市からの固定電話の通話料金は、10.5円/30秒)

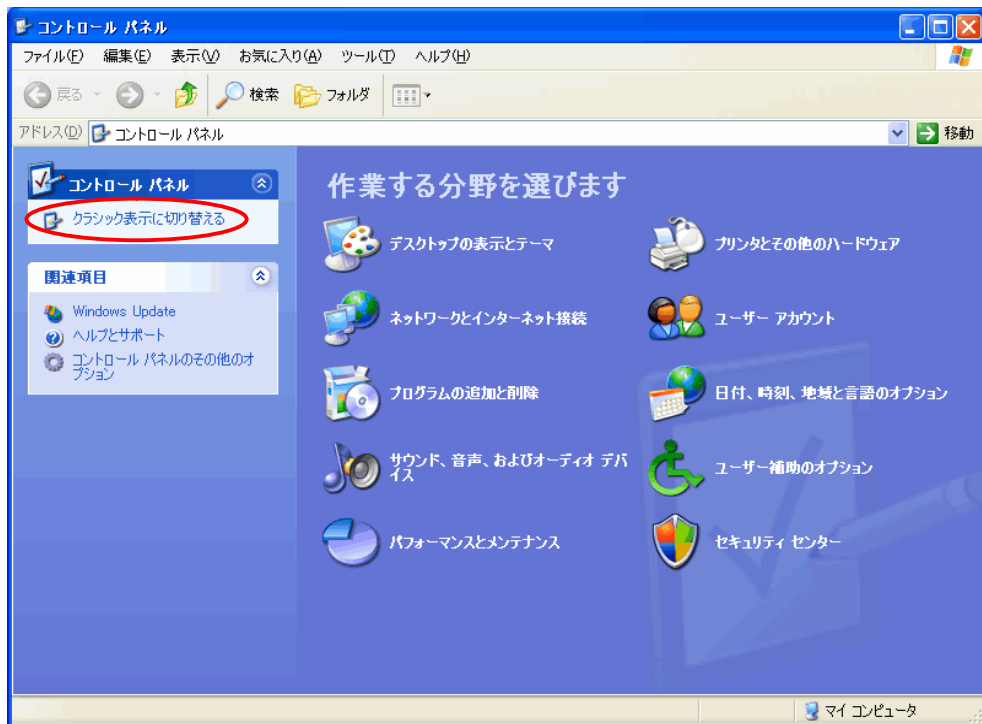
携帯電話(PHSを除く)からも、通話が可能です。

4. 「JREのプラグインを無効」にする操作

1. [スタート] - [コントロール パネル(C)] より、コントロールパネルを開きます。



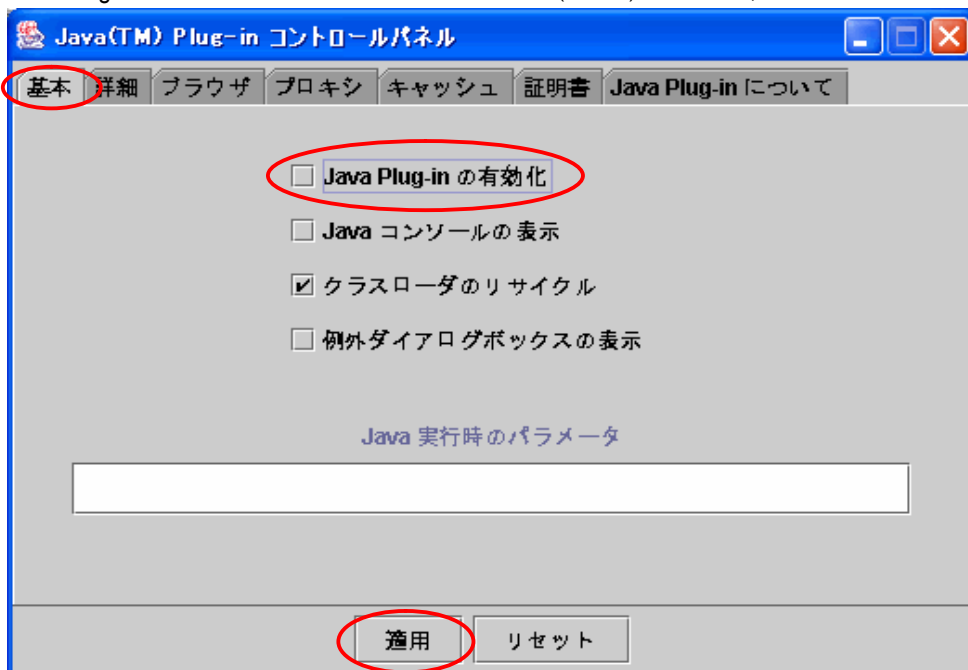
2. コントロールパネルが下画面の場合は、「クラシック表示に切り替える」を選択します。
既にクラシック表示になっている方は、行う必要はありません。



3. コントロールパネルが表示されましたら、「Java Plug-in 1.3.1_06(またはJava Plug-in 1.3.1_09)」を選択します。



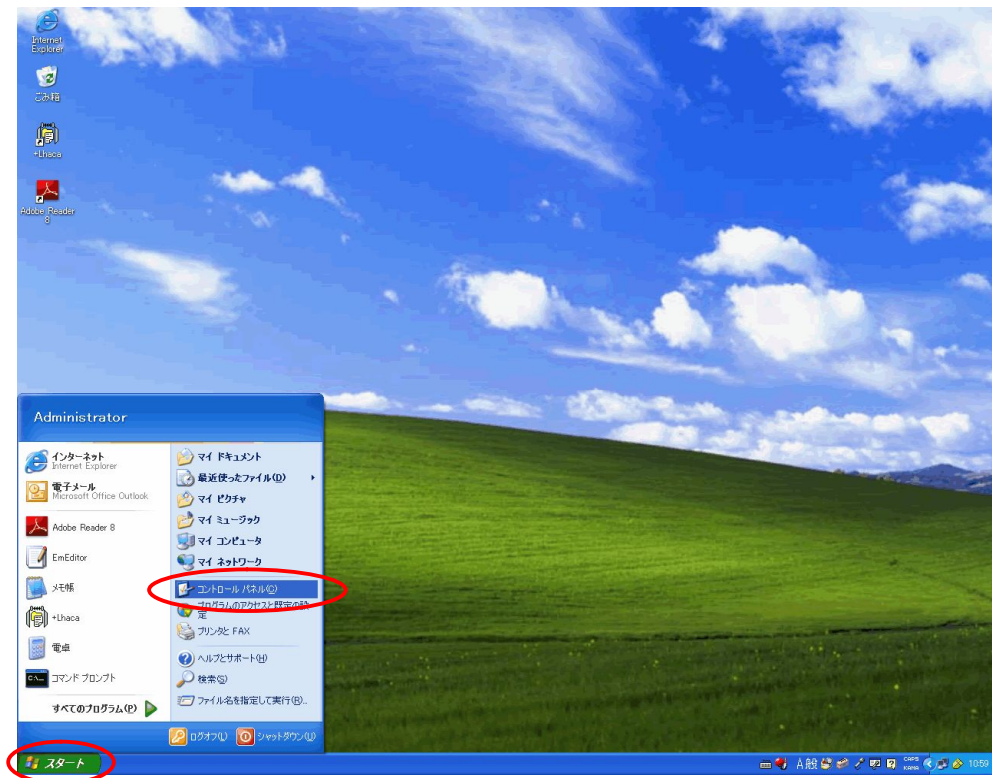
4. 「Java(TM) Plug-in コントロールパネル」画面が表示されますので、「基本」タブを選択して「Java Plug-in の有効化」のチェックボタンをオフ(無効)にした後、「適用」ボタンをクリックします。



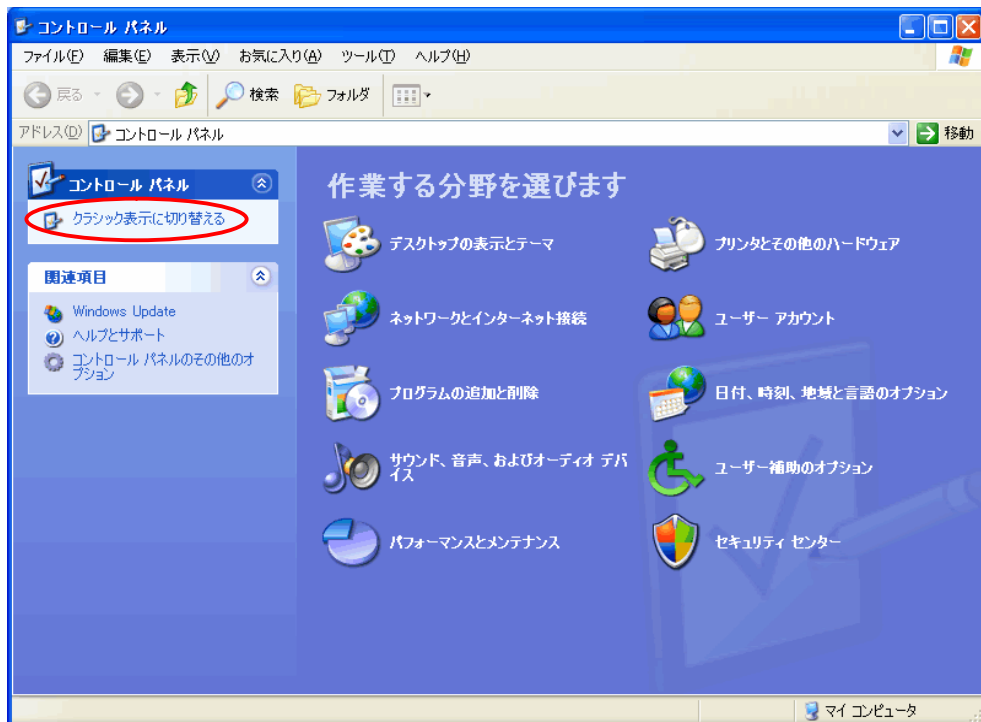
以上で、「Javaプラグインを無効」にする操作は終了となります。

5. 「JREのプラグインを有効」にする操作

1. [スタート] - [コントロール パネル(C)] より、コントロールパネルを開きます。



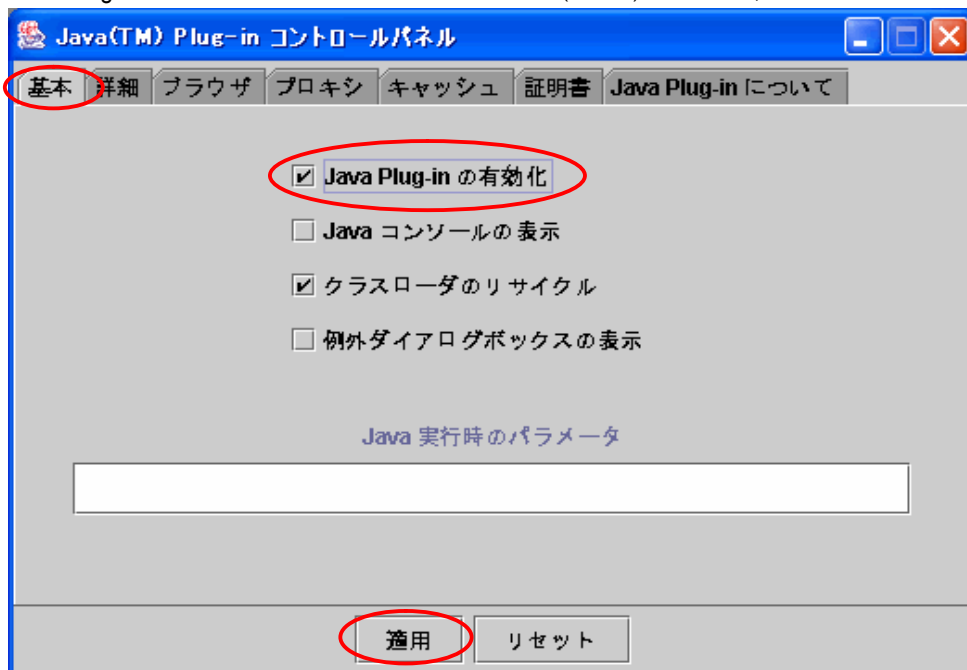
2. コントロールパネルが下画面の場合は、「クラシック表示に切り替える」を選択します。
既にクラシック表示になっている方は、行う必要はありません。



3. コントロールパネルが表示されましたら、「Java Plug-in 1.3.1_06(またはJava Plug-in 1.3.1_09)」を選択します。



4. 「Java(TM) Plug-in コントロールパネル」画面が表示されますので、「基本」タブを選択して「Java Plug-in の有効化」のチェックボタンをオン(有効)にした後、「適用」ボタンをクリックします。



以上で、「Javaプラグインを有効」にする操作は終了となります。